

貯 法：気密容器、室温保存

使用期限：3年（容器に表示の使用期限内に使用すること）

注 意：「取扱い上の注意」の項参照

承認番号 21700AMX00105

薬価収載 2005年12月

販売開始 2001年 7月

無菌製剤

外皮用殺菌消毒剤

# ネグミン®液10%

10%ポビドンヨード液  
10% Negmin® Solution

## 【禁忌(次の患者には使用しないこと)】

本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者

## \*【組成・性状】

### 組成

販 売 名	ネグミン液10%
成分・含量 (1mL中)	日本薬局方 ポビドンヨード100mg (有効ヨウ素として10mg)含有(10%v/v)
添 加 物	ラウロマクロゴール、グリセリン、無水 リン酸一水素ナトリウム、pH調節剤

### 製剤の性状

本剤は暗赤褐色の外用液剤で、わずかにヨウ素特有のにおいがある。

本剤は無菌製剤である(開栓までの無菌を保証)。

比重  $d_{20}^{20}$ ：約1.04

### 【効能・効果】

手術部位(手術野)の皮膚の消毒、手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、熱傷皮膚面の消毒、感染皮膚面の消毒

### 【用法・用量】

(1)手術部位(手術野)の皮膚の消毒、手術部位(手術野)の粘膜の消毒

本剤を塗布する。

(2)皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、熱傷皮膚面の消毒、感染皮膚面の消毒

本剤を患部に塗布する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)

(1)甲状腺機能に異常のある患者<sup>1)</sup>〔血中ヨウ素の調節ができず甲状腺ホルモン関連物質に影響を与えるおそれがある。〕

(2)重症の熱傷患者〔ヨウ素の吸収により、血中ヨウ素値が上昇することがある。〕

#### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

##### (1)重大な副作用

ショック、アナフィラキシー様症状(頻度不明)

ショック、アナフィラキシー様症状(呼吸困難、不快感、

浮腫、潮紅、蕁麻疹等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

#### (2)その他の副作用

種類	頻度	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹等	
皮膚	接触皮膚炎 <sup>2)</sup> 、痒痒感、灼熱感、皮膚潰瘍、皮膚変色	
甲状腺	血中甲状腺ホルモン値(T <sub>3</sub> 、T <sub>4</sub> 値等)の上昇あるいは低下などの甲状腺機能異常	

注)症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

#### 3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中および授乳中の婦人には、長期にわたる広範囲の使用をさけること。

#### 4. 臨床検査結果に及ぼす影響

酸化反応を利用した潜血試験において、本剤が検体に混入すると偽陽性を示すことがある。

#### 5. 適用上の注意

##### (1)使用部位

経口投与しないこと。

##### (2)使用時

1)大量かつ長時間の接触によって接触皮膚炎、皮膚変色があらわれることがあるので、溶液の状態でも長時間皮膚と接触させないこと<sup>3)</sup>。

(本剤が手術時に体の下にたまった状態や、ガーゼ・シート等にしみ込み湿った状態で、長時間皮膚と接触しないよう消毒後は拭き取るか乾燥させるなど注意すること。)

2)眼に入らないように注意すること。入った場合には、水でよく洗い流すこと。

3)深い創傷に使用する場合は希釈液としては生理食塩液か注射用水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

4)石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

5)電気的な絶縁性をもっているため、電気メスを使用する場合には、本剤が対極板と皮膚の間に入らないよう注意すること。

#### 6. その他の注意

(1)本剤を新生児に使用し、一過性の甲状腺機能低下をおこしたとの報告がある。

(2)ポビドンヨード製剤を腔内に使用し、血中総ヨウ素値および血中無機ヨウ素値が一過性に上昇したとの報告がある。

(3)本剤を妊婦の腔内に長期間使用し、新生児に一過性の甲状腺機能低下があらわれたとの報告がある。

(4)ポビドンヨード製剤を腔内に使用し、乳汁中の総ヨウ素値が一過性に上昇したとの報告がある。

## 【薬効薬理】

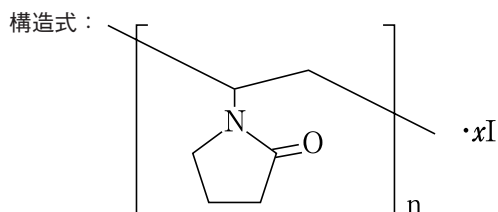
有効成分ポビドンヨードは、殺菌消毒用ヨードチンキ類剤であり、有効ヨウ素を10%程度含有する粉末である。その作用は殺菌的であり持続性があり、効力はヨードチンキに匹敵する。本剤は刺激性や組織障害性が低いため創傷患者へ塗布しても比較的痛みが弱いので、広く用いられている。

## \*\*【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：〔日局〕ポビドンヨード (Povidone-Iodine)

化学名：Poly[(2-oxopyrrolidin-1-yl)ethylene] iodine

分子式：(C<sub>5</sub>H<sub>9</sub>NO)<sub>n</sub>·xI



性状：本品は暗赤褐色の粉末で、わずかに特異なおいがある。

本品は水又はエタノール（99.5）に溶けやすい。

本品1.0gを水100mLに溶かした液のpHは1.5～3.5である。

## \*【取扱い上の注意】

- (1) 本剤は外用消毒剤であるので、経口投与、吸入、注射、眼及び体腔内（腹腔内、胸腔内）に使用しないこと。
- (2) 衣類に付いた場合は、水で容易に洗い落とせる。また、チオ硫酸ナトリウム溶液で脱色できる。

- \* (3) 安定性試験：最終包装製品を用いた加速試験（40℃、相対湿度75%、6ヵ月）の結果、ネグミン液10%は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された<sup>4)</sup>。

## 【包装】

250mL

## 【主要文献】

- 1) 石突 吉持：日本医師会雑誌, **97**, 1247(1987)
- 2) 角田 孝彦：皮膚, **32**(S8), 114(1990)
- 3) Okano, M. : J. Am. Acad. Derm., **20**, 860(1989)
- 4) マイラン製薬株式会社 社内資料(安定性試験資料)

## 【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

サラヤ株式会社 学術部

〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-5

TEL.(06)4706-3938

®登録商標

発売元

**サラヤ株式会社**

〒546-0013

大阪市東住吉区湯里2-2-8

TEL.(06)6797-2525

製造販売元

**マイラン製薬株式会社**

大阪市中央区本町2丁目6番8号